

大学発新産業創出拠点プロジェクト（START）

平成26年度予算額：2,454百万円
(平成25年度予算額：2,032百万円)

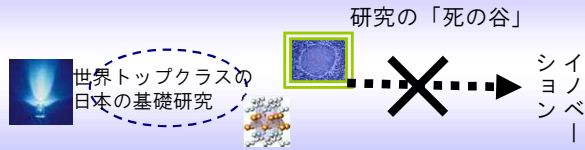
参考資料1

民間の事業化ノウハウを活用した大学の次世代技術の研究開発による新産業・新規市場の開拓と日本経済の復興・再生

大学の革新的技術の研究開発支援と、民間の事業化ノウハウをもった人材による事業育成を一体的に実施し、新産業・新規市場のための大学発日本型イノベーションモデルを構築（経験・知見の蓄積、人材育成等による持続的なイノベーションモデルを構築）

現状認識・課題

- ・産業構造の代謝停滞（企業の廃業率>開業率）
- ・大学等の優れた基礎研究成果の死蔵
- ・リスクを取らない文化と起業精神の停滞



大学発ベンチャーの課題

- ・研究機関に、技術シーズを市場ニーズにマッチングさせる人材が不足。
- ・研究者に事業経験や事業立ち上げに必要なネットワークが少ない。
- ・事業化に挑戦する研究を支援するリスクマネーが民間資金や公的研究資金に不足。

革新的な技術シーズの事業化や国際展開を積極的に進めるため、①新事業育成に熟練した民間人材を活用、②市場ニーズを踏まえたシーズを発掘、③早期のビジネスモデル策定による研究開発の効率化、④研究開発と事業育成を文部科学省が一体的に支援し、急成長する大学発ベンチャーを3年間で創出。

①事業化ノウハウを持つ事業プロモーターを文部科学省が公募・採択

②大学の研究者が持つ技術を事業プロモーターが選定（目利き）

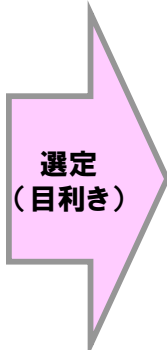
③ビジネスモデルを構築し、提案（事業化ノウハウと革新的技術の融合）

④文部科学省の支援を受け、研究開発と事業化を一体的に推進

革新的技術による急成長ベンチャーを創出

事業プロモーター（VC・金融機関等）

11機関（平成25年度）



大学・独立行政法人

研究者



事業プロモーター | ビジネスモデル | 技術シーズ | 研究者

事業プロモーターの研究開発マネジメント
・民間資金の誘引
・成長を見据えた知財戦略・市場戦略



文部科学省

グローバル市場へ挑戦